



50000-XK5 -K1S0 SPORTS SUSPENSION

for HONDA INTEGRA TYPE-R(230~)

取付・取扱説明書

この度は、無限製品をお買い上げ頂きありがとうございます。

このキットは、ホンダ インテグラ タイプR (ABA-DC5) 専用に設計したものです。

安全にドライビングを楽しんでいただくために、以下の注意点を正しくご理解の上、ご使用くださいますようお願い申し上げます。

取り付け後は、本書を必ずお客様にお渡しください。

ご注意

1. サスペンションキットの装着は、ホンダディーラーもしくは専門の整備工場等（認証工場）で行ってください。

サスペンションの取り外しに際して、ブレーキ関係の部品を外す場合、分解整備の対象となるため、認証工場にて交換作業をしてください。

本書の作業内容は、自動車整備士及び整備についてある程度の知識を持った方を対象としています。経験のない方のみでの組み付け作業は、ケガや事故または走行中の車両トラブル等をまねく恐れがあり、大変危険ですので、絶対に行わないでください。

2. 本製品の装着により車高が下がりますので（約15mm）、縁石や駐車場の車輛止め、または段差や凹凸路面の通過時は、十分にご注意ください。
3. 本製品は、ホンダ インテグラ タイプR (ABA-DC5 2300001~) への装着を目的として、保安基準に適合する仕様で開発された商品です。適合車種に正しく装着された場合は、改造申請は不要ですので、装着したまま車検を受けられます。
4. ヘッドライトオートレベリングシステムについて

インテグラTYPE-R (ABA-DC5 2300001~) には車両の姿勢変化に応じて自動的にヘッドライトの光軸を最適化するヘッドライトオートレベリングシステムが装備されています。本製品の組み込みにより設定車高が下がる為、専用機材のあるホンダディーラー等でヘッドライトの初期位置学習(本田技研工業(株)発行 インテグラ サービスマニュアル 構造・整備編(追補版)15-40項 参照)を行って下さい。この作業を行わないとヘッドライトの照射範囲が変わり夜間走行時の視界が十分確保できない場合があります。

5. 本製品の加工や分解、組み付け不良、誤使用による不具合・事故等については、弊社は一切責任を負いませんのでご了承ください。
6. 経年変化等により、サスペンションの機能を十分果たさないと判断した場合は、販売店に相談し、新品に交換する等してください。

〒351-8586 埼玉県朝霞市膝折町2-15-11

株式会社 M-T E C 商品事業部 商品課 国内営業ブロック
【営業時間 9:00~18:00】

Tel. 048-462-3135

Fax. 048-462-3121

【仕様表】

※車高は約15mm下がります。車輛の装備、仕様により若干変わることがあります。

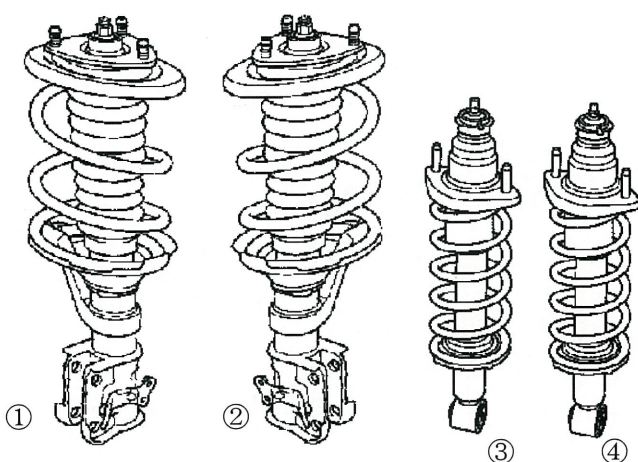
	減衰力（スタンダード比） 0.3m/s 時；伸び側／圧縮側	スプリングレート N/mm	適合車種 [型式]
フロント	117% / 137%	K=47.7 (K=45.1)	ホンダ インテグラ タイプR [ABA-DC5]
リヤ	134% / 103%	K=83.4 (K=83.4)	

↑ () 内はスタンダード

【部品表】

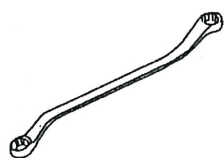
キット品番

50000-XK5-K1S0



NO	構成品番	QTY
	品名	
①	51601-XK5-01S0 DAMPER ASSY,FR.,R	1
②	51602-XK5-01S0 DAMPER ASSY,FR.,L	1
③	52610-XK5-01S0 DAMPER ASSY,RR.,R	1
④	52620-XK5-01S0 DAMPER ASSY,RR.,L	1
⑤	割りピン	2

【必要工具】

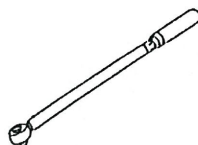


メガネレンチ

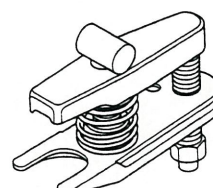
10,12,14,17,19,22mm



ソケットレンチ



トルクレンチ

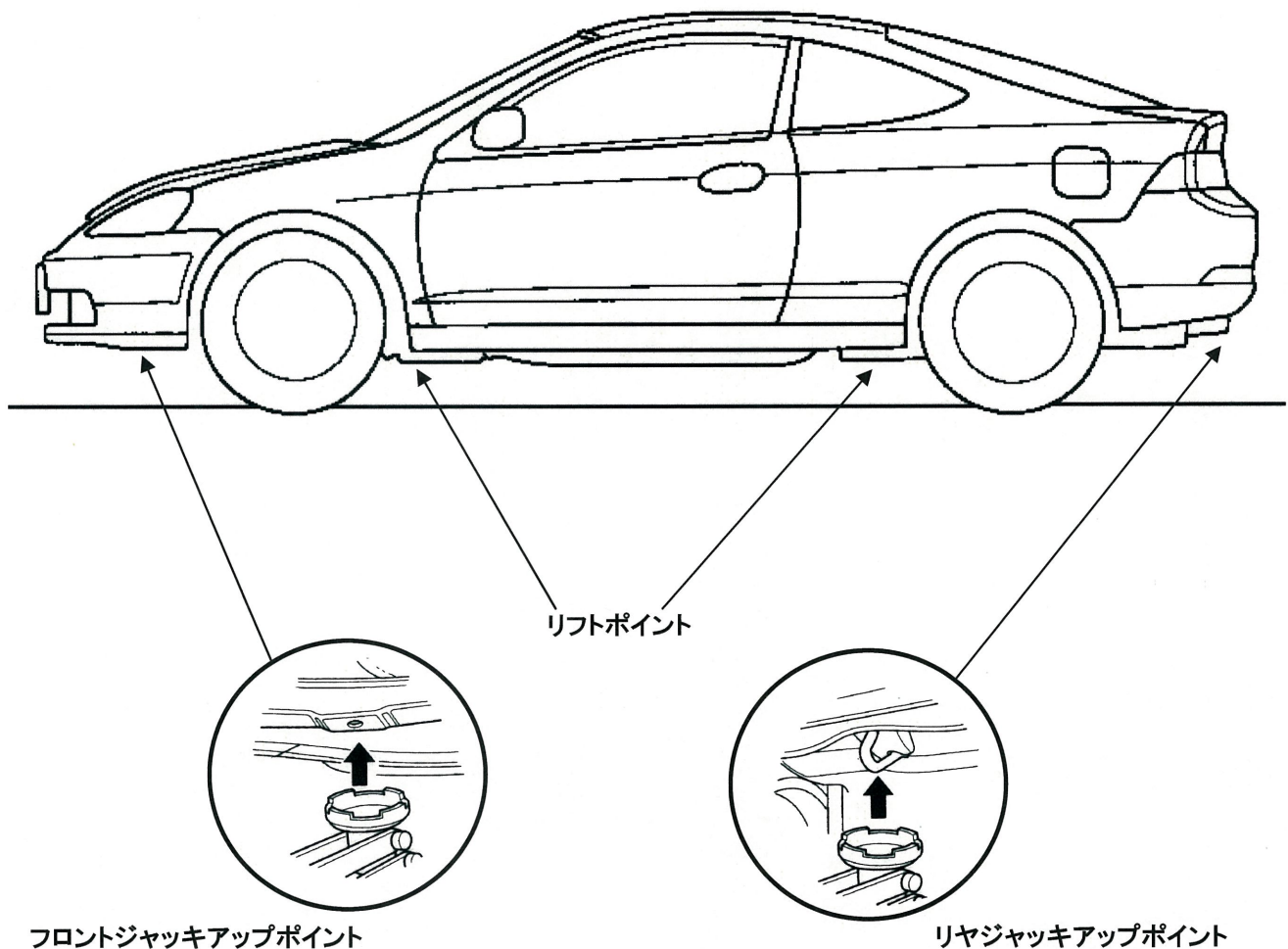


専用工具

ボールジョイントリムーバ

取付け準備

- ①各車輪のホイールナットを緩める。
- ②リフトアップまたはジャッキアップし、サイドシル補強部にリジットラックをあてがう。
- ③リフトアップまたはジャッキアップ状態の安全を確認する。



ご注意

- ・ 指定した位置以外でリフトアップしないこと。
- ・ ボディに傷をつけないように注意すること。
- ・ リフト使用時は、必ずリフトの取扱説明書を参照し、安全に注意して作業を行うこと。
- ・ ジャッキアップ後は、必ずリジットラックを使用すること。
- ・ 短時間の作業でもジャッキのみでの作業は絶対にしないこと。
- ・ ジャッキアップしたままで、車輦の下には入らないこと。
- ・ フロントをジャッキアップする時は、パーキングブレーキを必ずかけること。
- ・ リヤのみをジャッキアップする時は、ギヤをRポジションにいれ前輪前側に輪留めをすること。

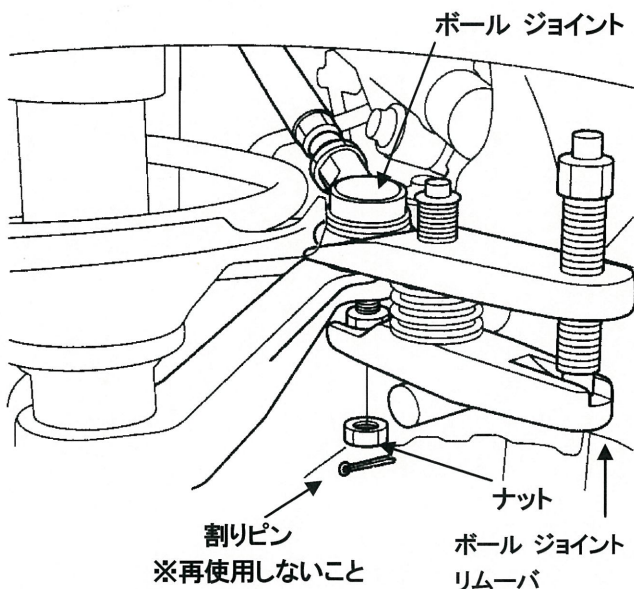
I. フロントダンパの車両への組み込み

STDフロントダンパの取り外し

①フロントホイールを取り外す。

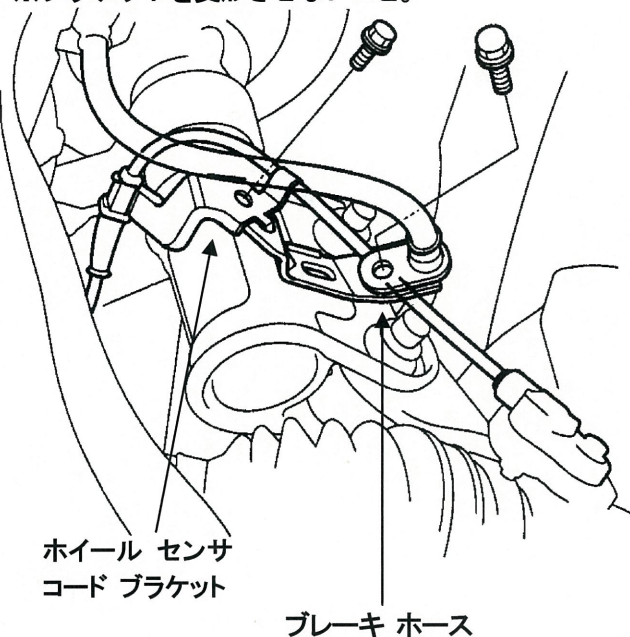
※ホイール脱着の際、ホイールでキャリパ表面に損傷を与えないよう十分注意すること。

②タイロッド エンドのボール ジョイント接続部から割りピンを外す。ナットをボール ジョイントピンのねじ部端面と段差が無くなるまでゆるめ、専用工具(ボール ジョイント リムーバー)でボールジョイントの接続を外す。



③ダンパからホイール センサ コード ブラケット、ブレーキ ホースを外す。

※ブラケットを変形させないこと。

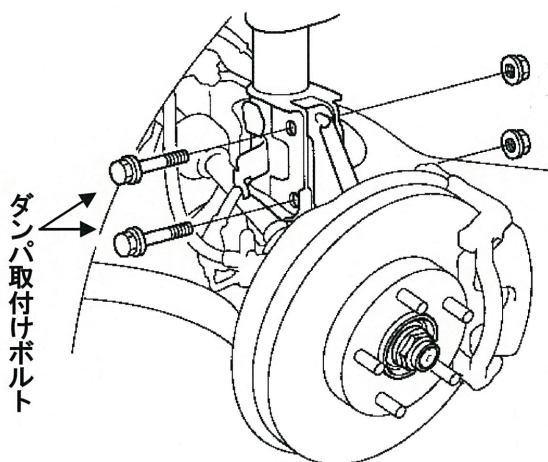


④ダンパ上部の取り付けナットを緩める。

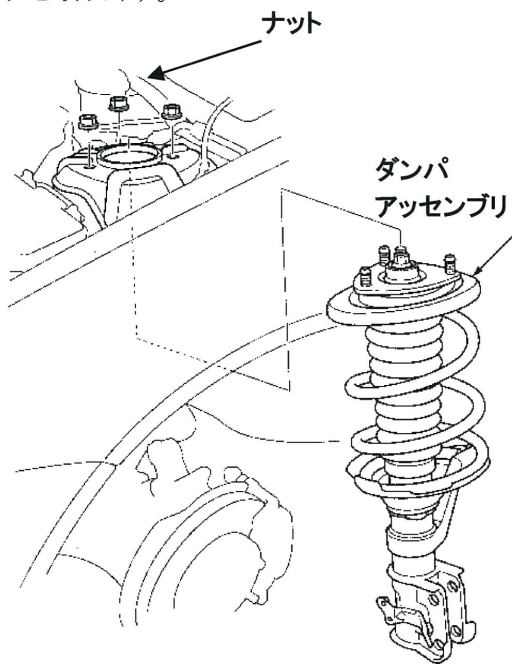
※ダンパが落下しないようにナットは取り外さないこと。

⑤ダンパ取り付けボルトを取り外す。

※ダンパの接続を外すとナックルの接続部がナックル下端とロアアーム先端部だけとなり非常に不安定です。その状態でナックルを一定以上外側に傾けるとドライブシャフト インボード ジョイント部(エンジン側)のローラが抜ける恐れがあるので十分注意すること。



⑥ダンパ上部の取付けナットを外し、ダンパ アッセンブリを取り外す。



※ドライブシャフトを抜かないようナックルを車体中央側に押し下げるとダンパを抜き取りやすい。

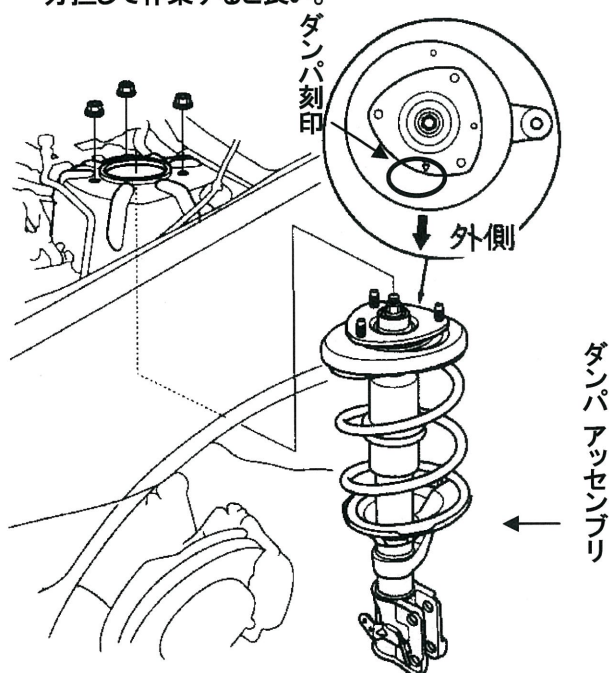
※ダンパを車体から外した状態で車から離れる場合、ドライブ シャフト インボード ジョイントが抜ける恐れがあるので、ナックルをタイダウン等で吊る等してナックルが傾かないよう固定すること。

無限フロントダンパの取り付け

- ①ダンパ刻印を車体外側に向け、ダンパ アッセンブリをボディに取付け、ダンパ上部の取付けナットを仮締めする。

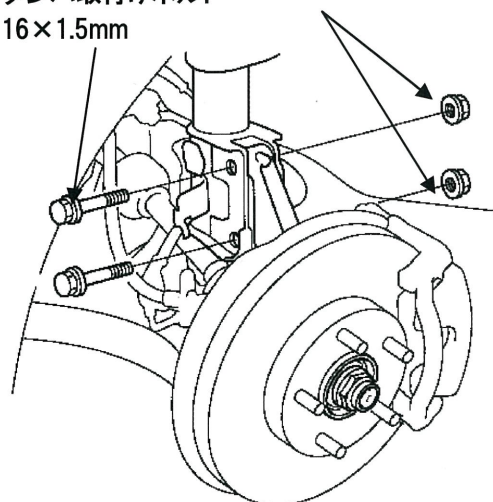
取付けナット トルク 44N・m[4.5kgf・m]

※ダンパを取り付けるときはドライブ シャフト インボード ジョイントが抜ける恐れがあるのでナックルが外側に倒れすぎないように注意すること。2人以上で分担して作業すると良い。

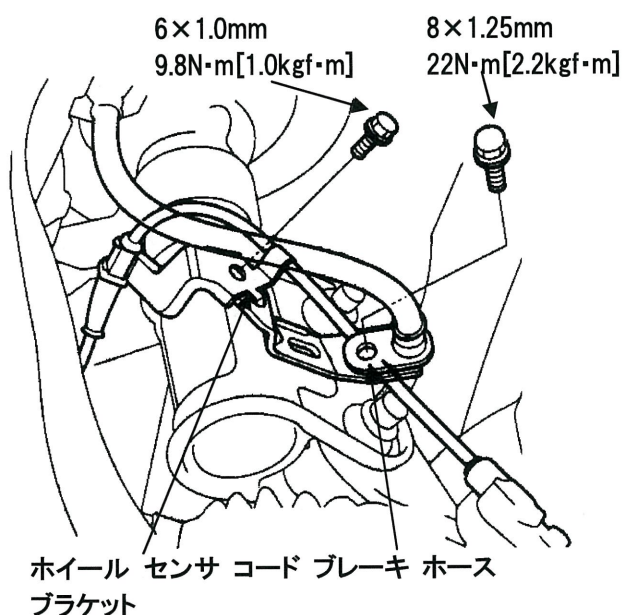


- ②ダンパ下部をナックルに取付け、ダンパ取付けボルトを差し込み、ナットを仮締めする。

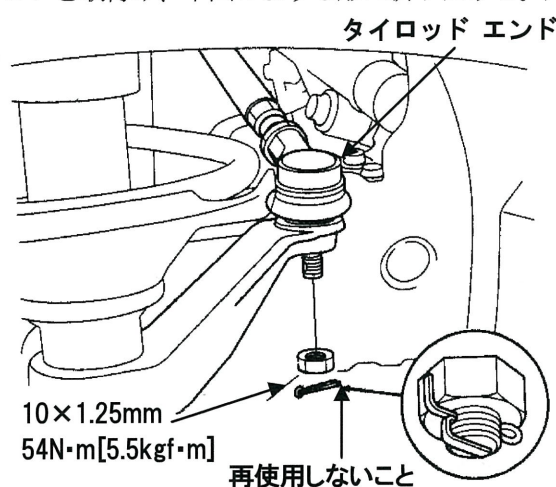
ダンパ取付けボルト
16×1.5mm
157N・m[16.0kgf・m]



- ③ダンパにブレーキ ホース、ホイール センサ コード ブラケットを取付ける。



- ④タイロッド エンドをダンパに取付け、ナットを仮締めする。(規定トルクにて締め付け後、付属の割ピンを取付け、下図のような形に折り曲げる。)



- ⑤ロアアームにジャッキを掛け、フロントサスペンションを持上げて車重をかける。

※ロアアームのボール ジョイント ピン先端にジャッキをかけないこと。

※ロアアームのボール ジョイント部に衝撃を与えないよう慎重にジャッキアップすること。

- ⑥ダンパ上部、ダンパ下部、タイロッドエンドのナットを規定トルクで締め付ける。

- ⑦フロントホイールを取付ける。

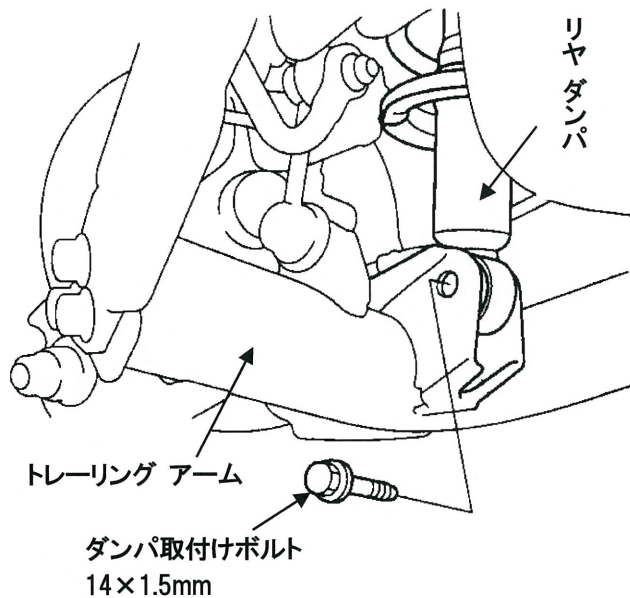
ホイール ナット トルク 108N・m(11.0kgf・m)

- ⑧フロントホイールアライメントを点検し、必要ならば調整する。(基準値については9ページを参照)

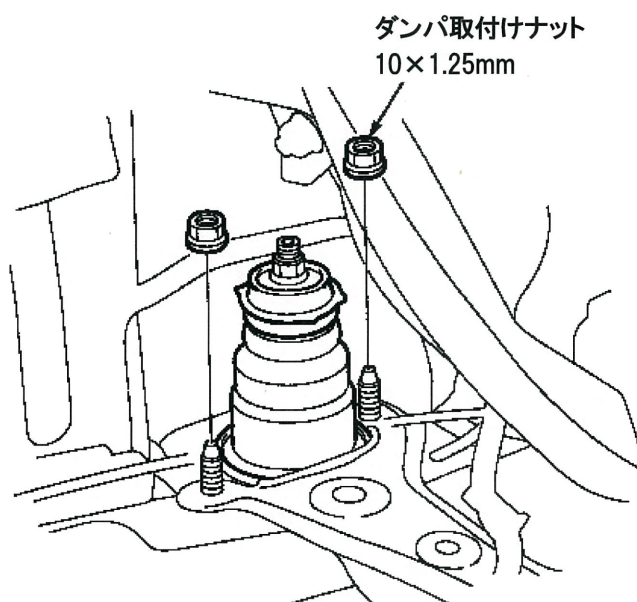
II. リヤダンパの車両への組み込み

STDリヤダンパの取り外し

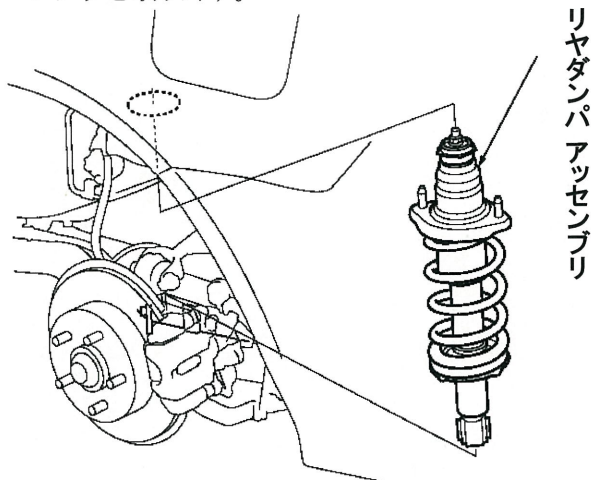
- ① リヤホイールを取り外す。
- ② リヤダンパ下部のダンパ取付けボルトを外し、リヤダンパとトレーリングアームの接続を外す。



- ③ ダンパ上部の取付けナットを外す。



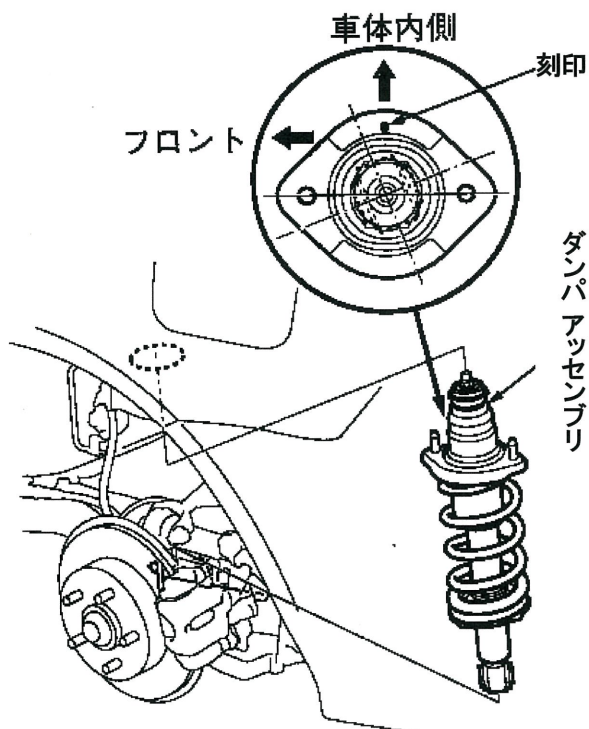
- ④ トレーリングアームを押し下げリヤダンパアセンブリを取り外す。



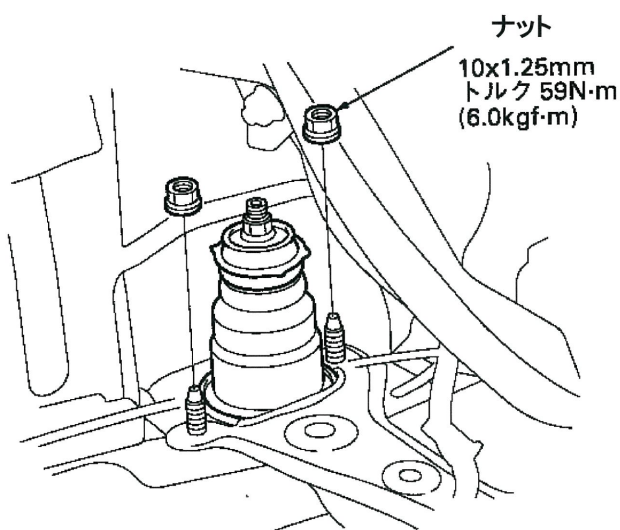
無限リヤダンパの取り付け

- ①ダンパ マウンティング ベース上面の刻印を車体内側に向け、ダンパ アセンブリを車体に組み付ける。

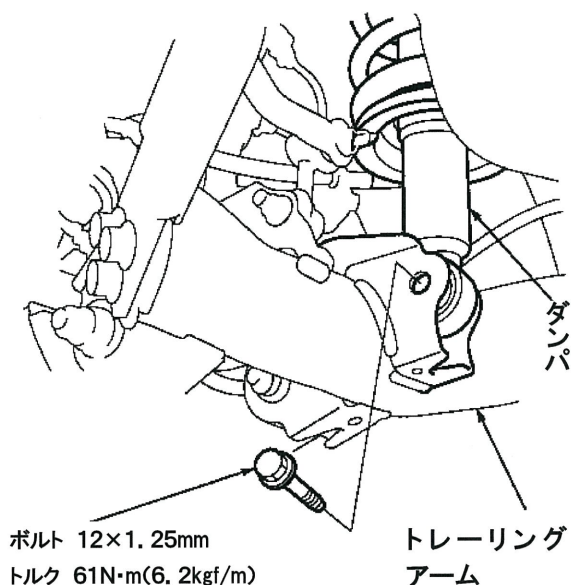
※先にダンパ上面を車体に差込み、トレーリング アームを押し下げながらダンパ下部をトレーリング アームに接続するとよい。



- ②ダンパ上部の取付けナットを仮締めする。



- ③ダンパ下部とトレーリング アームを接続し、ダンパ取付けボルトを仮締めする。



- ④トレーリング アームのパイプ部の下にウエスなどを介してジャッキを当て、トレーリング アームを支える。

- ⑤ジャッキでサスペンションを持ち上げて車重をかけ、ダンパ下部の取付けボルトおよびダンパ上部の取付けナットを規定トルクで締め付ける。

※トレーリング アームのプレート部に車重をかけないこと。

- ⑥リヤホイールを取付ける。

ホイール ナット トルク 108N・m(11.0kgf・m)

- ⑦リヤ ホイールアライメントを点検し、必要な場合は調整をする。(基準値については9ページを参照)

※無限スポーツサスキット組み込み後は、STDサスペンション組み込み時よりも車高が下がるので、ジャッキをおろす際は、十分注意すること。

参考 アライメント基準値

	キャンバー(°)	キャスター(°)	トータルトー(mm)
前輪	- 0° 30' ±45'	1° 30' ±1°	0 ±3
後輪	- 1° 55' ±45'		イン 2 ±2

 使用上の注意

- 取り付け直後は急激な運転操作を避けて慣らし運転し、異音やガタつきがないことを確認してください。
- 定期的にボルト、ナット類の緩み、ガタ等を点検し、取り付け状態を確認してください。
- 経年変化等によりサスペンションキットの機能を十分果たさないと判断した場合は、販売店に相談し、新品に交換する等してください。
- 本製品は純正品に比べ、スポーツ指向の仕様に設定しているため、走行中にダンパやスプリングの作動音が聞こえることがありますが異常ではありません。